



<VOL93 2015.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Wichian Boonmapajorn
アジア地域会長	Edward K.W.Ong
東日本区理事	渡辺 隆
北東部長	中川 典幸
もりおかクラブ会長	大関 靖二

「信念のあるミッション」  
「愛をもって奉仕しよう」  
「原点に立って、未来へステップ」  
「今と原点を融合して未来へ」  
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書5章13～14節

# 「あなた方は地の塩、世の光である。」

会長	大関 靖二
副会長	井上 修三
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

平成27年10月第一例会のご案内  
日時 平成27年10月10日(第2土曜日)午後6時30分  
場所 きのえね 会費2,000円  
卓話 現在検討中  
第二例会 平成27年10月16日(第3金曜日)  
場所 十割そば。

## 大関会長巻頭挨拶



大関会長

今年の秋の連休は好天に恵まれ野外活動には絶好の日和でした。まず9月20日には恒例のそばの刈り取りを行ってきました。当初参加者が少なく大変かなと思いましたが、6名の方々が参加してくださり、刈り取りは順調にできました。農園の担当者の方のお話ですと、今年は豊作でいいそば粉ができるとの事で楽しみが増えました。ご褒美に、となりの畑よりジャガイモを自分たちで掘りビニール袋一ついただいてきました。連休最後の9月23日には仙台YMCAチャリティランに参加してきました。盛岡YMCAのスタッフ、リーダー、もりおかクラブの面々総勢25名です。将来盛岡YMCAでもチャリティランを開催したいという事もあり、まずは参加して体験してみようという事でした。大会は老若男女障害のある方も参加しており、楽しく大変盛り上がった大会でした。21回目という事もあり手慣れたものでしたが多くのスタッフの大変な準備段取りがあり、一朝一夕ではできないなと感じてきまし

た。しかし規模は小さくても近い将来開催できると信じ、準備段取りを進めましょう。

9月23日の秋分の日から夜の時間が少しずつ長くなります。夕暮れが早くなり、私が嫌いな季節となりますが12月22日の冬至まで我慢しましょう。10月3日、4日、山口県の岩国みなみクラブを有志で訪問してきます。DBCを結んで初めての交流です。来月のブリテンは訪問内容を報告しますので楽しみにお待ちください。

## 9月第一例会のご報告

平成27年9月12日、きのえね本店にて、第一例会を行いました。大関、及川、長岡、小川、三上、山口、古澤、井上、濱塚、浅沼(敬称を省略) ゲスト、水上法子さん(盛岡YMCA「のりすけ」リーダー)11名の参加でした。

久々に及川メン出席、担当主事の小川メンが近く長期研修に出張するため、その間の代理をする浅沼君が出席してくれました。リーダーのゲスト水上法子さん(のりすけ)を迎え最近になく11名もの大人数?で9月の例会スタートです。

9月から10月にかけて、もりおかクラブは活動が活発になり

ます。今後の予定の確認が行われました。13日、向中野学童センターのバザー開催。20日、体験農場のそば刈り。23日仙台YMCAのチャリティラン参加。10月3日、4日の岩国みなみクラブ訪問など、毎週のように行事があります。その出席確認や参加勧誘など、大関会長は大忙しでメニューをこなしていただきました。小川メンの代理で担当主事をしてくれる浅沼君はおなじみの顔です、3か月よろしくお願ひします。小川君が復帰する12月はクリスマスです、いっしょに楽しみましょう。

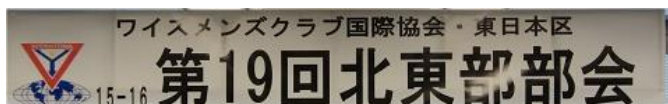
課題が山積しているもりおかクラブではありますが、まずは、母体の強化が最優先です。会長からも会員獲得の活動を続け

てほしいと発言があり、一同意識の再確認を行いました。



おお、バナーの剣先が光っている、カッコいい写真です。

## 第19回北東部会開催



9月5日、北東部会が開催されました。もりおかクラブは井上メン、井上優子メネットの両名は4日から、大関メン、長岡メン、は5日出席してきました。恒例のバナーセレモニーは大関会長、誇らしげにバナーを掲げて入場。ん、我がもりおかのバナーはいつ見ても美しい。

記念講演は、「心の障害者への就労支援」を実践している、NPO 法人シャロームの会代表、菊池茂さん。「どんな時も、あなたはそのままですばらしい存在です」(シャローム)、という言葉が理念とし、立ち上げ時のご苦労から、現在に至るまで奥様と共に歩み続けた足跡をお話してくれました。すばらしいお話を聞いて、障害者の親である長岡は感動いたしました。障害者とのお付き合いの厳しさをよく知っています。志や意志の高さだけでは越えられない壁があるとも知っております。心から賛辞をおくります。ありがとうございました。ここで自分を見つけた子供たちがどれだけいるかを思っただけで感謝の気持ちです。

我が、もりおかクラブは前年度の最優秀クラブとして北東部より表彰していただきました。会員増強の目標をクリアしていたことが表彰の理由でした、これは単純に喜びましょう。実情はとて

も満足できるものではありませんでしたが、これを励みにさらなる会員増強に努めてまいります。

懇親会では、Satelite(サテリテ)のデュオが、ベネズエラハープと4弦ギターでベネズエラ音楽や、日本の曲、上を向いて歩こう、などを披露してくれました。吉澤陽子さんと本城久志さんのお二人でした。ベネズエラハープは初めて聞きました。抜群のテクニックで奏でる音楽は、聞く者



の心をつかんで離しません。掴まれた私は、関心しきりにハープ演奏の指先を見つめておりました。

来年は盛岡で北東部会を開催します。とても良い参考になる北東部会でした。仙台クラブの皆様ありがとうございました。



## 盛岡YMCA向中野センターバザー開催

「盛岡YMCA向中野センターでは、9月13日(日)にバザーを開催させて頂きました。当日ご来場下さった方々、当日バザーで出品する物を提供して下さい下さった方々、当日お手伝いして下さい下さった方々、皆様の支えのお陰で予定通り行うことができ多くの方にお集まりいただけました。当日の収支、益金は以下の様になりますのでご確認いただければと存じます。今回の益金は、当初の予定通り日本YMCA同盟を通して、ネパールYMCA(ネパール地震被災地支援)への支援に充てさせていただきました。多くの方々のご理解とご協力、まことに有難うございました。」



中野センター長の小川君からのお礼状でした。

今年で3回目でしょうか、初めて参加いたしました。もりおかクラブからは、井上、長岡、三上の3名。どのような感じのかな?と思い、来年の盛り上げのために偵察参加でした。ボランティアの子供たちが10名くらいでしたね。小学生のボランティアは初めて見ました。学童保育センターならではのですね。



井上さんと三上さんは、シューティングゲームの盛り上げ、長岡はうすやきのお好み焼きとおしるこの販売を担当、長岡は一緒に活動した3人の女の子にもうメロメロ、かわいかったなあ。この女の子たち、お客さんが途絶えた時間に、地元のさんさ踊りを披露してくれました。口で太鼓のリズムを口ずさみながらなんと見事な演舞でしょう。しっかりした地域のコミュニケーションがここにはあると感じました。この地区なら子供たちが犯罪に巻きこまれる確率は少ないのでしょうか。

# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

9月の出席率	9/12	75 %	ゲスト2名	ビジター1名			
メーキャップ	1	名		9月切手	15	g	累計 50 g
9月ののこにこ		円	累計 0 円	9月プルタブ	4,000	g	累計 4,150 g
9月 石鹸	6,942	円	累計 6,942 円	りんご	0	円	累計 円
9月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	6,942	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

9月のハッピーバースディ 全国のワイズメン、ウィメン、メネット、コメットの方々、誕生日おめでとうございます。

## 体験農場はそばの刈り取り～

9月20日、体験農場は刈り取りの時期を迎え、いざ出陣。大関会長、長岡、長岡五咲子(メネット)、古澤さん、濱塚さんとコメットの牧人君6名が参加して刈り取り作業を行ってきました。前日の雨は上がって気持ちのいい青空でしたが、畑はぬかるんで足を取られてしまいました。鎌で丁寧に手狩りです。もっとも原始的な農作業でした。しかし面積が小さいのでちょうどいい時間で終了。しかし、地元のおばちゃんが半分刈ってくれました。ありがとのおばちゃん、農作業のプロフェッショナルでしたね。

どう見ても、実の入りはよくないように見えたのですが、豊作なんだそうです。???ま、いっか。雑草をまびいて、そばの茎だけを丁寧に集めて結わえる。1時間の作業で完了、楽勝でした。なんてね、長岡チームは30分の遅刻、みなさんごめんなさい。

最後は、ご褒美の芋ほりです。地中から出てくるジャガイモに感動しながら、掘すぎだよ～、一人一袋だけだよ。みんな、大満足のそば刈体験でした。長岡メネットは「10割そばなんてぼろぼ

ろでおいしくない」と言うので、岩洞湖レストハウスで10割そばのざるそばを食してみました。ぼろぼろになるのは、打ってから時間がたったそばですよ、打ちたてのそばは香、歯ごたえ、なにもかもおいしいのさ。メネット納得のおいしさ、認識を新たにしました。試食のそば打ちにつれていけないといけませんね。



やった～、大成功。大関さんがいない、いるよそばの後ろ

## 第21回仙台 YMCA

### インターナショナルチャリティラン2015

#### 盛岡 YMCA 初参戦！気持ちよ～く走ったぜ～

9月23日、第21回仙台 YMCA チャリティランが開催されました。盛岡 YMCA は、今回初参加、なんと3チームが挑戦、総勢18名で東北学院大学内のキャンパスコースを走り抜けました。

#### チャリティランとは、なんぞや？

心身に障害がある子供たちを支援し、同時にこの活動を通して「真に豊かな社会」への関心が高まることを願うものです。大会はすべてボランティアによって運営され、収益金は全額支援金として用いられます。チャリティランの特色は障害のある子供たちと共に生きる私たち自身が子供たちの成長を願う思いを集めて参加し、タスキを繋いで走るところにあります。障害児と共に一緒に走り、応援をして楽しみましょう。

これは、参加に先だち、盛岡 YMCA が参加者に配布したパンフレットにあった文章です。盛岡 YMCA の参加者はこのことをまさ



実践してきました。勝負にこだわったチーム、盛り上げるためにコスチュームを工夫したチーム、子供

だけのチーム、大人と子供の混合チーム、男女の区別はありません。もちろん障害児も一生懸命走りぬけました。

盛岡 YMCA のスタートランナー3人は、先行するランナーを見守るように後方から静かなスタートを切りました。もちろん走るのが苦手なリーダーもたくさんいますし、スピード自慢の男子リーダーもいます。初めはチームの仲間を応援しながらハイタッチで応援していましたが、最終ランナーを送った後は、ゴール前に移動して各チームの応援に移行しました。おそろいのエンジ色のジャージーを着た一団がゴール前で各ランナーを力の限り応援していました。なんとすばらしい光景でしょう。ビデオをとっていた長岡はこのころからこの子供たちのそばを離れられなくなっていたのです。そして、全チームの最終ランナー(子供です。幼稚園児と思われる。)が泣きながら走っていると場内放送で知る

やいなや、コースを逆走してこの子を迎えにいったのです。力の限りの応援をこの子に送っていました。盛岡 YMCA のリーダーはいつもの活動の延長線上の行動だったのかもしれませんが、「がんばれ、がんばれもうすぐだよ。」「ゴールはちかひよがんばれ〜」、泣きながら走ってきた子はこのころから泣くのをやめて伴送していた大人と共にゴール前のトラックに入ってきました。「みんな〜アーチを作ってゴールに迎えよう」、誰かが叫びました。盛岡 YMCA のリーダーたちはアーチを作って迎賓しました。その時です。競技を終わった各チームの選手たち、スタッフたちがアーチを一斉に作りだしたのです。泣きながら走っていた子供に笑顔が戻り、アーチの中を見事にゴールインしたのです。

作られたスポコンドラマよりは、はるかに感動するシーンを見ました。自然に心の中から湧き上がった応援は行動も感動ものでした。今回初参加の盛岡 YMCA のスタッフ、リーダーたちは、チャリティランとはなんであるかを学びとったと思います。そして将来盛岡でもチャリティランを行うにあたり、この行事は「心が大事」であることを学びとったのです。盛岡で開催される時、営業はワイズメンズクラブが行います。君たちは心を込めて素晴らしい大会運営を行ってください。今回、盛岡 YMCA の底力を再認識した大会になりました。

ちなみに3位に入賞したチームがあり、メダルを獲得しました。また、くじにも2名が当選して、図書カードと、ゲーム機Wiiを

獲得、これはきっと神様からのご褒美だったのでしょうか。



やった〜大成功。充実した1日でした。ありがとう。

## 石割桜の枝が折れた！何が起こった？

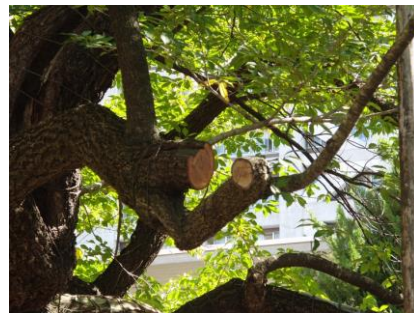


岩手日報の記事にびっくりしました。事務用品の中古業者がトラックで盛岡地裁庭園に侵入、石割桜の周りを反時計方向に回転して正面玄関に向かう途中に枝に接触、大きな枝一本と支柱をなぎ倒したとの事です。

この業者も岩手県民のはず、石割桜の価値も知っていたはず。過ちはだれにもあるとはいえ、被害を受けたものが石割桜である

ことの重大性を認識し、岩手県民に対して謝罪広告ぐらいは出し

て謝っていただきたい。



処理が終わった枝口

自慢の桜です、樹木は自然の力によってその姿を毎年変えていきますが、今回の事故での姿の変更はまことに残念でしかたありません。がんばれ、石割桜。樹齢300年と言われているますが、いつ朽ち果てもおかしくない桜です。現代の保存技術でなんとか私たちにそのたくましく、美しい姿を披露し続けてくれています。こんな事故に負けないで、来年の春にもかれんな花を見せてください。

## 編集後記

9月28日、午後0時30分です。9月号の編集がおわりました。石割桜の事故は27日の新聞で知りました。いてもたってもいられず28日午前中に行ってきました。傷口の処理も終わり、何事もなかったかのように石割桜は立っていました。「ごめんね、がんばってね。」同席したご婦人のつぶやきが心をうちました。盛岡市民はこの桜を愛していると実感しました。

今年も中津川に鮭が遡上してきました。盛岡市民は鮭も大好きです。やはり一緒に川を覗いていたご婦人が「お帰り。」って、つぶやきました。同感です。ただの魚だと言えばそれまで、鮭の特性を勉強すると、沿岸の河川に遡上する鮭とは、根性がちがう盛岡の鮭です。石巻市の北上川河口から200Kmの長旅、「まことにご苦労さま、お帰り。」

ああ、盛岡はいいですねえ。 長岡

